

3年学年通信



人権学習にご参観いただき、ありがとうございました。

10月26日(水)と28日(金)に人権学習を行いました。お忙しい中、ご参観いただき、ありがとうございました。

3年生人権学習より「勇気をもって伝えよう」

今回学年で共通して人権学習に取り組みました。これは、松原中学校区にある山田小学校と笠縫小学校で共通して実践する人権学習の1つです。今回の学習のねらいや子どもたちの様子について、紹介させていただきます。

○資料名 : 「友だちの悪口、言わんといて」(出典:かがやき・小学校3・4年)

○ねらい : よくないと思ったら勇気を持って伝えようとする態度を養う。

○あらすじ: 点数の悪いテストを持って帰ると家の人に叱られると思い、友だちと話して道端にすてたぼく。帰宅するとお母さんに「勉強もしない大山君と遊んでばかりいるからこんな悪い点をとったり、テストをすてようなんて考えたりするんや。もうこれから、大山くんと遊ばんとき。」と叱られ、「なんでや。(中略)なんでおかあちゃんは、いつもいつも大山君はあかんとか遊ばんとき、とか、かってに決めるんや。大山君のどこが悪いんや。いつだって大山君はやさしいのに。友だちの悪口、言わんといて。」と大声で叫んだ。

○主に話し合ったこと:

「よくないと思ったらどうすればいいのかな。」

○子どもの主な意見

- ・(1組) これからは、友だちや・お家の人の事をきめつけないようにしようと思いました。もし自分がよくないことをしてしまったら、すなおにあやまろうと思いました。
- ・(2組) よくないと思ったとき、勇気を出して人に伝えるといいことに気がつきました。いやなことはいやとしっかり相手に伝える。
- ・(3組) だれにでもいいところはある。きめつけはいけない。まちがえたら勇気をもって言わないと何も変わらない。
- ・(4組) 資料に出てくるお母さんの言葉が、私が言われている事に似ているなと思いました。でも、私は言い返したことがほとんどありません。だから、気持ちを伝えるのは大切だと思いました。

○学習を終えて

人は時に偏った見方や考え方をしてしまうことがあります。でも、それは、大人も子どもも当てはまることではないでしょうか。今回は親子の会話での内容でしたが、学校生活でも起こりうる問題だと思っています。不合理や偏見だと感じたことは、相手がだれであっても勇気を出して伝えながら、気持ちを聞き合っていくことで、お互いを理解し合うことにつながっていくと考えています。